

地域自治組織に関する意見

	項目	意見・感想
1	区長任期の複数 年化と事業年度 の統一	望ましい。区の実情は農家主体であり、総会、役員交代、引継等は、繁忙期を避けたい。たくさんの区長の集合が難しい。
2	区長任期の複数 年化と事業年度 の統一	極力年度統一を進めることが望ましい。役員改選等が同一であると、統一して開始、終了ができるので、意思統一して行動がとりやすい。
3	区長任期の複数 年化と事業年度 の統一	逆転の発想で1月から12月で統一する方法もある。
4	区長任期の複数 年化と事業年度 の統一	複数年化について、当区の任期は1年間ですが、現実的には多くの区民が仕事の関係で1年間すら区長を務めることが難しい。複数年だとさらに困難になる。
5	区長任期の複数 年化と事業年度 の統一	任期、年度の統一を図ることはアンケートの結果からも難しいので、隣区との合同事業を企画等していく中で、統合、再編を視野に入れていったらどうか。
6	区長任期の複数 年化と事業年度 の統一	当区は既に2年任期だ。
7	区長任期の複数 年化と事業年度 の統一	区長選考は毎年順調に行われている。
8	区長任期の複数 年化と事業年度 の統一	2年任期制は現実的に問題点あり。
9	人口減少時代 における地域自治 組織のあり方	区が目的を持って動く。
10	人口減少時代 における地域自治 組織のあり方	近隣とのコミュニティ、対話の活性化。
11	人口減少時代 における地域自治 組織のあり方	区の果たす役割、区を活性化するイベントの提案。
12	人口減少時代 における地域自治 組織のあり方	隣接区との共同事業の実施を進めることが、今後の統合への一歩。
13	人口減少時代 における地域自治 組織のあり方	区の実情が様々ある中、区長任期、年度統一を隣接区と取り組むべきではないか。
14	人口減少時代 における地域自治 組織のあり方	人口減少の中で、現行の68区の再編を早急に。対応するための検討会議を開催するべき。
15	人口減少時代 における地域自治 組織のあり方	人口減少によって当区でも若い世代がいなくなり、区役員のなり手がなくなっている。この課題に対し、区でも検討を始めている。
16	人口減少時代 における地域自治 組織のあり方	人口減少によって区役員等の組織が成り立たないことが考えられるが、関連する区同士で話し合い、統合しなければならない場合もあり得る。

地域自治組織に関する意見

17	人口減少時代における地域自治組織のあり方	小諸市に人が多く集まるようにする。(街中も空き店舗が多い) 提案:小学校の吹奏楽が活躍していることを広くアピール。新幹線駅をつくる。
18	人口減少時代における地域自治組織のあり方	他の地域(区)でどのような状況なのか聞きたい。
19	人口減少時代における地域自治組織のあり方	高齢者単身世帯に対する地域でのフォロー
20	人口減少時代における地域自治組織のあり方	市内10地区を新しい一つの区に。現在の区には地区責任者制度に。
21	人口減少時代における地域自治組織のあり方	少子高齢化の問題をしっかりとつかみ、区に対する市政が打ち出されている。
22	人口減少時代における地域自治組織のあり方	高齢化により、今後区としてやっていけるか。
23	人口減少時代における地域自治組織のあり方	区よりも隣組織の再編成でコミュニケーションづくりが先だ。
24	人口減少時代における地域自治組織のあり方	区を考える前に隣組機能の復活を。近隣住人同士の人間的つながりがなくなっている。
25	人口減少時代における地域自治組織のあり方	区の役員になると一生懸命やるけれど、その時だけという現実がある。
26	人口減少時代における地域自治組織のあり方	区の事業が負担になり役員になるのが大変だと思うので、区の事業のあり方を検討すべき。
27	人口減少時代における地域自治組織のあり方	近所付き合いがほとんどなくなっている中で、話し合いすらできない。
28	区への加入促進の方法	今年度区長を交代してから、区内にある団地に区への加入をお願いし、小諸市に住所がある人とない人も全員加入してもらった。
29	区への加入促進の方法	市民課窓口で区への加入を勧めるのはとても良い。窓口担当者がただ単に用紙を渡すだけでなく、きちんと説明することが必要。
30	区への加入促進の方法	新しく転入された方の加入勧奨は良い。区へ引き継いで…。
31	区への加入促進の方法	住民登録時の窓口での加入勧奨は高く評価する。しかし地元区の加入実務は難しいものがある。区内居住者の使役等の公平さから全戸加入は当然であると考えているが…。
32	区への加入促進の方法	区の境界は原則として行政上の境とする。個人的に他区へ加入希望する場合は飛び地扱い。

地域自治組織に関する意見

33	区への加入促進の方法	加入促進パンフの運用を開始したが、今後加入者の意見聴取や追跡調査をしバージョンアップを図ることが重要ではないか。
34	区への加入促進の方法	衛生自治会の役割、区に入らなければゴミも出せない？「自治会」という名称は何？
35	区への加入促進の方法	入区への勧奨が不徹底ではないか。
36	区への加入促進の方法	区の加入については、素晴らしいことだと思います。
37	区への加入促進の方法	区の加入について、区の総会などを利用して話し合いをしたらどうか。
38	区に対する支援策	農道等整備の区民要望に応えられない。また、要望しても数年経過してしまう。
39	区に対する支援策	市からの委託業務の簡素化と効率化をどのようにしていくのか。
40	区に対する支援策	防災・・・計画策定の手法がどれだけ役に立つか。財政支援・・・補助金行政になる。
41	区に対する支援策	地区担当者の業務整理及び区毎の温度差の解消。
42	区に対する支援策	地区担当者は地区毎で職員数が大きく異なるため、今後どう全区域へ配置していくのが課題。
43	区に対する支援策	地区担当者制度の職員の役割、その働き、区に何をもたらしているのか疑問がある。
44	区に対する支援策	地区担当職員制度のサポート方法が具体化されていない。
45	区に対する支援策	区長手当の改善を検討する必要があるのではないか。
46	全体	アンケートをベースに地域に関する議論を進めたことはとても良い。今後の進め方もこの考えをもとにお願いしたい。
47	全体	区長に連絡があったのに、区長の出席が少ない。
48	全体	区、市民への浸透度がない。この活動自体も知らない。

地域自治組織に関する意見

49	全体	3部会の報告聴いたが、「…すべき」との論調が多く感じられる。
50	全体	子供が少なくなり小学校、保育園がどうなるか。
51	全体	区と市の役割を明確化した上での分担になっていない。
52	その他	降雪時において、隣区との市道が雪かきされず(空白地域)吹き溜まりになるので考慮してほしい。例:平原から御影。

市民活動拠点に関する意見

	項目	意見・感想
1	拠点の場所	誰でも行ける、寄れる、駅に近いところを希望。
2	拠点の場所	子どもも行かれるような、誰でも行ける場所であってほしい。
3	拠点の場所	現在の場所が悪い。駐車場が狭い。入りにくい。
4	拠点の場所	良い施設、使いたい施設はバラバラにあっては使いづらい。皆が使いやすい、利用しやすいこととは1箇所にいろいろな施設があるとうれしい。
5	拠点の場所	「誰でも、いつでも、気軽に立ち寄れる場所」にふさわしい場所に設置してほしい。
6	拠点の場所	建物イメージとしては、市役所の玄関前、図書館の横等。
7	拠点の場所	市民が立ち寄りやすい場所が大切。老若男女、障害を持つ人、持たない人すべて。
8	拠点の場所	拠点は市民(障害者、子供、高齢者)が気軽に参加できる場所を考えてほしい。出来るだけ早期に。
9	拠点の場所	ボランティアセンターの場所を早急に決定してほしい。誰もが行きやすい所を希望。
10	拠点の場所	現在、保健センターにて活動中ですが、今後もここを拠点として活動できることを強く希望します。
11	拠点の場所	場所とか弱者を助けることにつながっていない。
12	拠点の場所	市公共施設の利用を図り、利便性を上げる。
13	名称について	部会で名称、役割の変更が提言されてから決定までが急すぎた。
14	名称について	名称変えただけでなにが変わるのか。
15	名称について	ボランティアセンターの名前ですが、運営委員として全く知らなかった。
16	名称について	名称変更にかかわるよりも中身を大切にしてほしい。

市民活動拠点に関する意見

17	名称について	ボランティアセンターの変更の名前が少し長すぎる。変更しても名前は変わらないと思う。
18	名称について	小諸ボラセンで良いのではないのでしょうか。
19	名称について	ボランティアセンターの名称、親しめそうな愛称を考えたらどうか。
20	若い人の参加を	若い人が参加できることが大切。どんな働きかけをしているのか。
21	若い人の参加を	もっと若い人の参加が必要。
22	若い人の参加を	若い人が参加してほしい。そのためにはもっと広報が必要。
23	若い人の参加を	若い人の参加は少ないですね。参加してもらうには？
24	基本的な考え方	市のまちづくり、活性化を進めるためには、自分達の団体だけで活動してはだめ。外へ向けて手を貸す、出すことをしながら、情報発信されたことには出来るだけ協力していこうと思います。
25	基本的な考え方	現在の社協への委託を、将来住民委託にしなければ、市民から遠のいてしまうと言われているが、私はそう思わない。社協は元々民間組織であるのだから、市より市民の声は届きやすいと思う。
26	基本的な考え方	ボランティアセンターの内容を広く皆に知ってもらおう。
27	基本的な考え方	社協は「高齢福祉の為だけ」にあるイメージ。「子どもたちの為にも」というイメージアップをすること。
28	基本的な考え方	市民活動はボランティアが扱うものとは違うと思う。
29	基本的な考え方	ボランティアは素直にボランティアだけで良いのでは？
30	基本的な考え方	ボランティアの活動をそれぞれにやっているのでも、横のつながりが見えてこない。
31	基本的な考え方	小諸市自治基本条例、今日深く知ることが出来ました。ボランティアを長くしていて、新しい考えでボランティアに取り組みたい。
32	その他	小諸市のイメージが悪い。街を美しく。千曲川を楽しむ。

市民活動拠点に関する意見

33	その他	小諸市のイメージ。梅のマークが小諸市なのに梅園がない。梅はどこに行ってみるの。
34	その他	色々な報告があってもまとめきれない。
35	その他	初めて参加したが、課題も多く、問題点もあり今後に反映させていきたいと考えています。市民参加のまちづくりについては、市民の意向を取り入れて実現させてください。
36	その他	絵に描いた餅にならないようにしてください。

市民参加手法に関する意見

	項目	意見・感想
1	課題	ワークショップの実施だけで満足してしまう。
2	課題	広く市民が参加できる手法を考える必要がある。
3	課題	果たして相談窓口になれるのか。
4	課題	どんなことに市民は参加したいのか。しやすいのか。
5	課題	組織構成
6	課題	市民は小諸の将来をどの様にしたいのか「みえる化」。
7	課題	市民のより良い暮らしのために協働する。その仕組み。
8	課題	市民の主体性をどう意識づけていけば良いのか。
9	課題	市民参加といってもどう呼びかけるのか。いつも同じ人しか集まらない。
10	課題	実現が難しいことまで、結論としてまとまってしまうかも。
11	課題	市職員が市民への願いを明確にする。
12	課題	参加する市民の固定化。
13	課題	参加しない大多数の市民の意見を聞いてほしい 集約、評価 どのようにしたら参加していただけるのか 方策 市民協働
14	課題	参加(意見)したくなる手法は？
15	課題	公表の方法。より良い場所は？
16	課題	区と団体の協働で区の代表者が必要。

市民参加手法に関する意見

17	課題	行政からの説明会のあり方について、行政の姿勢に課題あり。
18	課題	各部会ごとの連携。地域自治組織部会で示す防災の拠点づくりと市民活動拠点部会の考える拠点との連携は図れないのか。
19	課題	あふれ過ぎた情報をいかに簡単に、早く知ることができるか。
20	感想	わかりやすいルールってどんなもの？
21	感想	ワークショップ例の手続き手順どおりが本当に必要なのかわかりません。
22	感想	ワークショップという手法は、好きではありません。
23	感想	連携をまとめ、決定するリーダーは誰？
24	感想	まちづくりは興味あり。
25	感想	何に対する参加手法か？団体活動？行政への意見？
26	感想	どこまでできたら市民参加になるのだろう。
27	感想	手続き、手法のルール化をするために必要と感じていることは？
28	感想	他人事にはしてはいけないと頭では分かっているけど、お堅い会議、内容だとい他人事になりがち。
29	感想	大事なものは「自分のこと」として考えられるか？ということ？
30	感想	しっかりした考え方が出来ているので、次は実践に向けてどうすればいいのか考える。
31	感想	怖い。考えなくなりそう。
32	感想	この市民会議の拘束力が心配。

市民参加手法に関する意見

33	感想	このガイドラインは、団体活動が市民参加を委託するイメージで良いか？
34	感想	結論ありきでワークショップを開いているのでは？
35	感想	学校給食のワークショップも良い事例だったと思う。
36	感想	各ワークショップや市民参加事業の全体のとりまとめ、報告を、どう全体で取り上げていくのかわかりやすくしてほしい。
37	感想	ありがたい。ルールがあれば進み方がわかる。
38	感想	「協働」ってわかりにくい。
39	情報提供	全体で共有。
40	情報提供	情報発信だけでは分からない。決まったことを知らされいるだけのように感じる。
41	情報提供	市民参加の手法は良いと思うが、行政からワークショップを行う目的に対して、情報公開をすべて行うこととする。後になって未情報部分が出る例がある。
42	情報提供	広報こもろの中で市民参加の場のお知らせは、まとめて告知したらどうか。
43	情報提供	広報こもろの中で、繰り返し同じページに、必ず同じことに関する情報を。
44	情報提供	いつもこのページにはワークショップのことが載っているとかな。
45	情報提供	一番大切な行政と市民との情報共有が図れていない。
46	情報提供	「そこに行けば全て分かる」という体験コーナーがほしい。
47	事例研究	他市を参考としたのは、「小諸をどうしたい」イメージがあったのか？他市はどこが良かったのか？先進事例をまねることから進めていく。
48	事例研究	小諸市をどの様にしたいということから他市の事例を選んだのか？良かった点、悪かった点など知りたかった。

市民参加手法に関する意見

49	事例研究	ここまで他市の仕組み等をどの程度参考にしてあるか？
50	対象事業	対象事業は市が全部決めるの？市民の声を拾ってほしい。
51	対象事業	対象事業は市が決定。誰が企画？市？
52	対象事業	市民参加の対象になった事業を誰が企画するのですか？市？第三者？
53	対象事業	市民参加の対象事業は誰が決定するのか。
54	対象事業	市民参加の対象事業は、誰が決めるのですか？
55	対象事業	市民参加対象事業は誰が取りまとめるのか。市民の側に立って「自治」であるならなおさら。
56	対象事業	今回、市民協働の推進の拠点が必要とありましたが、対象事業を誰が取りまとめるのですか？